

検索番号		シート番号	7101-03
小分類	公共事業碑	名称	農為國本碑
場所	人見 人見 5-1 付近	メッシュ番号	2217
年号	和暦：昭和 14 年 7 月 西暦：1939 年		
形状	自然石型		
サイズ	高 本体：226×89×13 c m 台石：50 c m		
画像番号	7101-03-01 (表)		

碑本國為農



碑文は次ページです

コメント；

碑文は次ページ。「裏面

周西村人見馬込耕地整理組合創立建碑

発起人井川源臈以下 16 名が記してある。

昭和 16 年 5 月建之」

農為国本の碑

昭和十四年七月

千葉県知事從四位勲五等

織本 泰撰文

立田清辰題額

上総周西村馬込之地南負人見山而枕小糸川田高不可灌概是以用水常乏田畝乾涸其得收穫十歲中不過四五歲明治二十七年干甚不得插秧農民望雲霓徒嘆息而已天笠作十朗石井源次郎榎本織臈等憂之首唱架水車以灌漑里人舉贊成焉乃購朶苞二萬作土豚障流而急造水車用之行水於高処得以插秧後經千六十余日而流水混々稻苗繁茂收穫乃利倍蓰於旧翌年相議設水利組合以牌版換土豚且改修水車先是業川船運送者來詰日我輩古來利川流以回漕朶穀薪炭於京濱各地今遮斷航路則生業不立速撤去焉於是天笠石井諸氏折衝甚力遂定規約而灌漑事業益牢矣大正十二年九月關東地大震灌漑設全壞衆茫然不知所為會政府布災害対策諸法令千葉県耕地課長山中謙輔及技師木村寅臈勸奨里人更設耕地整理組合而置揚水所干馬込用石油發動機以揚水于主水路更通溝渠遍漑耕地二十二町步爾來無復干涸之患而收穫饒多地価昂騰一村振興之基立當時天笠作十朗為村長盡力尤多項者里人皆議欲建碑勤有功勞者氏名於其陰以示後昆介天笠君請文於余余日自今後里人不忘往日之嘆苦益勵精以勤于利用厚生則家給人足可期而埃豈可不慶哉乃記以告來者云爾